

2日目 4月22日

会 場: 県立浜山球場

第1試合	~2回戦~																	
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
三刀屋	2	1	0	0	0	1	2	0	0							6	10	2
出雲	0	0	0	0	0	0	9	0	X							9	6	2
(投手-捕手)																		
・ (三)	三原→安部→吉田→矢田貝 - 國分																	
・ (出)	生越 - 安井																	
(長打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (三)	中島、高橋																	
・ (出)							安井											
(審判) [球審]	林			〔一塁〕飯塚			〔二塁〕嘉藤			〔三塁〕筑後								
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(三)	47	10	4	2	0	0	4	10	2	2		0		2	2	0	0	0
(出)	41	6	7	0	1	0	8	12	1	0		1		2	0	0	0	0

「出雲、7回一挙9得点の猛攻で秋準V校下す」

秋準優勝の三刀屋と8強の出雲が初戦で対戦する好カードとなった。ライト方向への風が強い中、試合は両エースの先発で始まった。

初回から荒れた展開となる。三刀屋は、1回表に四死球と安打で1死満塁とし、矢田貝の放った内野ゴロで併殺を狙うも遊撃手の悪送球で2点を先制する。2回表にも、安打と四球で1死満塁とし、4番吉田がインフィールドフライを放つが二塁手が落球する間に1点を追加する。対する出雲も四球で走者は出すものの三原の130km/h台後半の速球に押されて安打が出ない。

すると、6回表に三刀屋が1死1・2塁から3番榎野のレフトへの適時打で1点を追加すると、翌7回にも2死満塁から2番國分のセンターへの適時打で2点を追加し、リードを6点に広げた。

流れが変わったのは7回裏、四死球と犠打で1死2・3塁とし、1番安井の適時三塁打で2点を返すと、続く内田も適時打を放つ。四死球で1死満塁とし、途中出場の岸が三刀屋2番手、安部の直球を捉えレフトへの適時打を放ち1点差に迫ると、直後に暴投で同点に追い付く。三刀屋も3番手の吉田が2死にこぎ着けるが、2死1・2塁から8番酒井がレフトへ適時打を放ち勝ち越しに成功すると、2死満塁とし1番安井がライトへ適時打を放ち1点追加すると、打球を右翼手が弾く間に2塁走者も生還した、この回一挙9点を挙げた。

反撃したい三刀屋だったが、相手投手が尻上がりに調子を戻したことで、特徴的な直球にタイミングが合わず反撃することが出来なかった。

